

## 2章 街の将来像

### 1 地区の将来像

地区の将来像は、これからの街づくりにおいて、皆でともに目指していく将来の地区の姿です。誰もが楽しく安心して暮らし続け、様々な活動を営み続けられるよう、皆で共有する概ね 10 年後の将来像を定めます。

### 地域の個性を活かした 文化の創出ができるまち なかめぐろ

中目黒駅周辺地区は、市街地再開発事業や山手通りの拡幅事業などにより、新しく居住する人、新たに商店を営む人が増えてきています。さらに、副都心線と東急東横線との相互乗り入れが予定されるなど、中目黒駅周辺は今後大きく変化し、魅力が高まっていくことが想定されています。

一方、地域内では高齢化の進行や少子化、核家族化が進んでいますが、山手通り沿道を中心に人口が増加しています。このような中で土地利用においては、例えば、従来からの商店街に加え、目黒川沿いの昭和を彷彿させる古い家や小さなビルを改修した個性的な店舗等が立地してきており、駅前とは違う雰囲気醸し出しています。このような地域ごとの様々な個性は、この街の豊かな表情をつくりつつあります。

また、街歩きを楽しむ人や、犬を散歩に連れ出す人も増えており、中目黒駅周辺は、居住者の生活様式が変化してきています。こうした生活様式の変化に合わせて、道路や公園などの施設について、くつろげる場所や楽しく散策できる道などの整備が求められています。

そこで、中目黒駅周辺のさらなる発展を進めていくため、「地域の個性を活かした 文化の創出ができるまち」を目指すべき地区の将来像として位置づけ、人と人とのつながりがあり、昔からの生活様式を継承しながらも、美しい街並みの形成やできるだけ自動車に頼らないで歩いて楽しめる街といった、考え方や生活様式を“文化”として捉え、様々な文化を創出していくことで、“地域の個性”を活かしながら、住み続けたい街、住んでみたい街、訪れてみたい街を目指していきます。

## 2 街づくりの目標

街づくりの目標は、地区の将来像に向かって目指すべき方向を定めたものです。地区の将来像「地域の個性を活かした 文化の創出ができるまち なかめぐろ」を実現するために取り組むべき街づくりの目標を示します。

### 目標1

快適で安全な住環境の維持・保全・改善・調和を進めます

### 目標2

環境にやさしい、歩いて楽しめる街づくりを進めます

### 目標3

中目黒駅周辺の魅力を更に高めるための街づくりを進めます

### 目標4

地区の活性化や都市型観光に寄与する街づくりを進めます



地域コミュニティを活かした街づくり

地域コミュニティを活かし、誰もが安全で安心して暮らし続けることのできる街づくりを進めます。

## 目標① 快適で安全な住環境の維持・保全・改善・調和を進めます

昭和 63 年の地区整備構想の策定当時と比較して、駅周辺で商業・業務施設及び住宅の集積が進むと共に、駅周辺の後背地では、工業系地域や住居系地域に小規模な商業・業務施設が進出しています。

その結果、無秩序な混在などの問題が顕在化すると共に、昭和 63 年の地区整備構想のときに取り上げられた木造密集地域の課題も解消されずに残っています。また良好な景観形成を行うという地域の「意思」が感じられない街並みが見受けられます。

そこで、商業・業務と住宅などの無秩序な混在や木造密集地域の解消、良好な住宅地の維持・保全などの課題への対応を行うことで、不安や危険を感じない街づくりを進めると共に、どこか懐かしいといった雰囲気大切にするなど、心地よさや安らぎ、潤いのある個性豊かな街並みの形成を目指していきます。

## 目標② 環境にやさしい、歩いて楽しめる街づくりを進めます

上目黒一・二丁目の再開発事業に併せて、バスやタクシーの利用のしやすさは改善されつつあり、山手通りの拡幅によって広域的な道路網が強化されるなど、交通機能の充実が図られようとしています。しかし交通機能を担う自動車の利用は、便利で快適な暮らしをもたらす一方で、交通事故の危険性のある箇所や、山手通りによる地区の分断、環境面での悪化をもたらしています。

そのため、幅広い視野で、環境問題への認識を深め、長期的展望に立って、環境改善に取り組むことが求められております。具体的には、環境負荷の少ない地域社会の形成を目指すために、みどりの創出や環境配慮型の舗装などに取り組むと共に、出来るだけ自動車に頼らないで、誰もが安心して移動できるようにしたり、楽しく散策できる道やくつろげる場所の整備など、歩いて楽しめる街づくりを目指します。

## 目標③ 中目黒駅周辺の魅力を更に高めるための街づくりを進めます

中目黒駅から概ね 200m の地域は、市街地再開発事業や幹線道路沿道の高度な土地利用により商業・業務機能の集積が進む一方で、商店街や住宅、自然資源である目黒川もあるなど、居住者、来訪者・就業者が集中する場所となっています。

そのため、中目黒駅の改良・耐震化工事に伴う鉄道高架下への対応や、山手通りの拡幅などの事業と連携して、賑わいや活気を創出し、さらに人を引き付ける魅力ある街づくりを目指します。

#### 目標④ 地区の活性化や都市型観光に寄与する街づくりを進めます

中目黒駅周辺における活性化を考える上では、中目黒と代官山・祐天寺・大橋などとの連携及び機能分担を図った取り組みが大切です。

また、中目黒駅周辺には、「川の資料館」「中目黒GTホール」「正覚寺」「目黒川沿いのブティック雑貨店」「近隣商店街や各種専門店」「駒沢通りのインテリア店」などが集積し、近接区域には「西郷山公園」などもあります。

そのため、様々な個性的な商店や、由緒ある寺社や坂道などの歴史的資源、目黒川などの自然資源を活用し、豊かな食文化などの広がりを大切にしながら、街歩きを楽しめる都市型観光にも寄与する街づくりを目指します。

※都市型観光とは

芸術、遊興、買物、飲食を楽しんだり、その都市の街並みや文化遺産など歴史・文化に触れたり、市（いち）などを訪れ市民の暮らしに接し、地域の人々と交流するなど、都市の様々な魅力を体験する事を総称した概念、又、その活動。アーバンツーリズムと呼ぶ事もある。